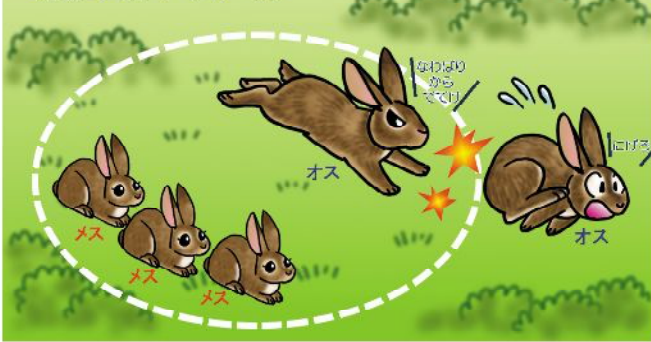




野生ではオスウサギはなわばりを持ち、侵入してきたほかのオスウサギを追い払います。負けたオスウサギはなわばりから逃げ出します。

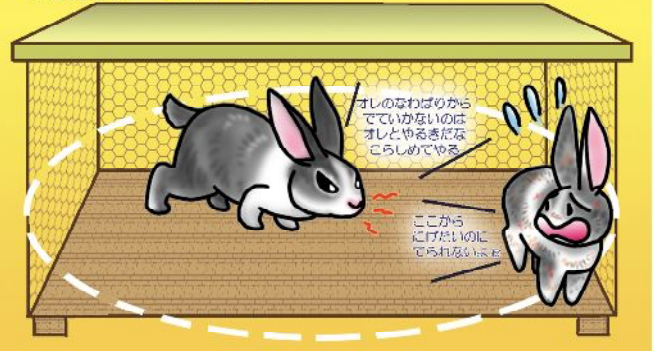
<野生のアナウサギ>



強いオスウサギは、本能に従ってほかのオスウサギを攻撃してなわばりから追い出そうとします。

しかし、ケージなどで飼われていると、負けたオスウサギは逃げ出すことができません。

<飼育小屋のウサギ>



弱いオスウサギは逃げ出すこともできず、攻撃を受け続け、大ケガを負い、えさも食べられずに死んでしまうことも少なくありません。



ウサギを無計画に増やさないために、オスとメスは別々に飼うことが必要です。また、メスウサギは相性がよければ、ひとつのケージなどで複数飼うことも可能ですが、オスウサギを複数飼うことはさげましょう。

◎最適な飼い方  
<オスもメスも一匹ずつ>



○場合により可能な飼い方  
<相性のよいメス複数>



× 不適切な飼い方

<オスメス同居> <オス複数> <相性の悪いメス複数>



オスウサギは、発情すると気が荒くなったり、オシッコをあちこちにひっかけたりすることがあります。去勢手術をすることでこれらの困った行動がなくなり、とても飼いやすくなります。メスウサギは、不妊手術をすることで、子宮蓄膿症、子宮腺癌を予防できます。

オスもメスも不妊・去勢手術をすることで、繁殖に関するストレスなく、一生をおだやかに過ごすことができます。

ウサギのオスとメスの見分け方

- ・ オスの生殖器は丸い
- ・ メスの生殖器は縦に長い
- ・ 肛門と生殖器の距離が、オスは長く、メスは短い

